

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平4-135271

⑤ Int. Cl.<sup>5</sup>  
G 06 F 15/21

識別記号  
3 3 0

庁内整理番号  
7218-5L

⑬ 公開 平成4年(1992)5月8日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 商品発注決定装置

⑰ 特 願 平2-257833

⑱ 出 願 平2(1990)9月27日

⑲ 発 明 者 松 岡 勇 大阪府大阪市中央区城見1丁目4番24号 関西日本電気ソフトウェア株式会社内

⑲ 発 明 者 安 達 辰 巳 大阪府大阪市中央区城見1丁目4番24号 関西日本電気ソフトウェア株式会社内

⑲ 出 願 人 関西日本電気ソフトウェア株式会社 大阪府大阪市中央区城見1丁目4番24号

⑲ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明細書

発明の名称

商品発注決定装置

特許請求の範囲

商品現在庫情報、商品販売実績情報および過去天候情報の各々を入力する各入力手段と、天候予測情報を入力する入力手段と、天候特性情報および曜日特性情報を入力する各入力手段と、前記各々の入力手段からの情報により発注対象商品の販売実績の補正および発注対象商品の予測発注数を算出する算出手段とを備えることを特徴とする商品発注決定装置。

発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は商品発注決定装置に関し、特にスーパーマーケット等の商品発注数を定める商品発注決定装置に関する。

〔従来の技術〕

従来から実施されている商品発注決定方式は、人手による感覚に頼った発注方法であり、商品の販売実績を示す情報および天候および曜日の違いなどにより商品の販売予測を行って、商品の発注数を人手によって定めている。

〔発明が解決しようとする課題〕

上述した従来の商品発注決定方式は、人手による決定となっているので、担当発注者の違いで発注決定数にばらつきがあるという欠点を有している。

本発明の目的は、発注対象商品の発注数の決定に対して客観的な判断規準として天候情報、曜日情報などを取り込んで、自動的に商品の発注数を決定することができる商品発注決定装置を提供することにある。

~~本発明が解決しようとする課題~~  
〔本発明が解決しようとする課題〕

本発明の商品発注決定装置は、商品現在庫情報、商品販売実績情報および過去天候情報の各々を入力する各入力手段と、天候予測情報を入力す

る入力手段と、天候特性情報および曜日特性情報を入力する各入力手段と、前記各々の入力手段からの情報により発注対象商品の販売実績の補正および発注対象商品の予測発注数を算出する算出手段とを備えて構成されている。

〔実施例〕

次に、本発明の実施例について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の商品発注決定装置の一実施例を示すブロック図である。

第1図に示すように本実施例は、商品在庫情報20を入力する商品現在庫情報入力手段1、商品販売実績情報21を入力する商品販売実績情報入力手段2、過去天候情報22を入力する過去天候情報入力手段3、天候特性情報23を入力する天候特性情報入力手段4、天候予測情報24を入力する天候予測情報入力手段5、曜日特性情報25を入力する曜日特性情報入力手段6の各々を有し、発注対象商品販売実績補正計算手段7で商品販売実績情報21と過去天候情報22と天候特性

情報23とから発注対象商品販売実績補正情報30を算出し、予測発注数計算手段8で商品現在庫情報20と発注対象商品販売実績補正情報30と天候予測情報24と曜日特性情報25とから商品発注数情報40を算出することにより構成されている。

また、第2図は商品販売実績情報を過去天候情報を含む天候特性情報によって、天候に対する本実施例の商品販売実績補正情報を算出する手順を示す説明図である。第2図(A)は商品販売実績情報、過去天候情報及び天候特性情報の関係を例として示している。第2図(B)は第2図(A)で示す情報から商品販売実績補正情報である平均販売実績補正数を算出する手順を例として示している。

さらに、第3図は本実施例の商品販売実績補正情報を商品現在庫情報、天候予測情報、天候特性情報および曜日特性情報によって、本実施例の商品発注数情報を決定する算出手順を示す説明図である。第3図(A)は発注日の天候予測情報を含

む天候特性情報から発注日の天候特性係数を算出する手順を示している。第2図(B)は商品販売実績情報、発注日天候特性情報、曜日特性情報および商品現在庫情報から最終的に商品発注数情報を算出する手順を説明している。

〔発明の効果〕

本発明の商品発注決定装置は、天候特性情報と曜日特性情報とを設けることにより、販売実績と発注日の天候状態と発注日の曜日とを考慮することによって、商品の発注数の精度を高めることができるという効果を有している。

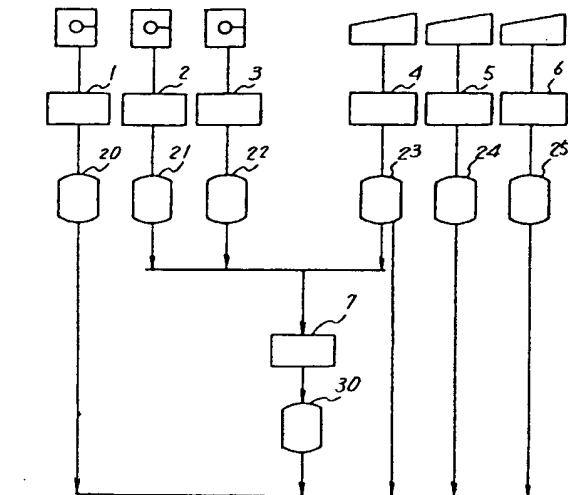
図面の簡単な説明

第1図は本発明の商品発注決定装置の一実施例を示すブロック図、第2図は本実施例の商品販売実績補正情報を算出する手順を示す説明図、第3図は本実施例の商品発注情報を算出する手順を示す説明図である。

1……商品現在庫情報入力手段、2……商品販売実績情報入力手段、3……過去天候情報入力手

段、4……天候特性情報入力手段、5……天候予測情報入力手段、6……曜日特性情報入力手段、7……発注対象商品販売実績補正計算手段、8……予測発注数計算手段、20……商品現在庫情報、21……商品販売実績情報、22……過去天候情報、23……天候特性情報、24……天候予測情報、25……曜日特性情報、30……発注対象商品販売実績補正情報、40……商品発注数情報。

代理人 弁理士 内 原 晋



- 1…商品現在庫情報入力手段  
 2…商品販売実績情報入力手段  
 3…過去天候情報入力手段  
 4…天候特性情報入力手段  
 5…天候予測情報入力手段  
 6…曜日特性情報入力手段  
 7…発注対象商品販売実績補正計算手段  
 8…予測発注数計算手段  
 20…商品現在庫情報  
 21…商品販売実績情報  
 22…過去天候情報  
 23…天候特性情報  
 24…天候予測情報  
 25…曜日特性情報  
 30…発注対象商品販売実績補正情報  
 40…商品発注数情報

第1図

発注対象商品: テマキオニギリシャケ		発注日: 89/8/28 (月曜日)		天候特性情報		
		実績日	個数	過去天候情報(日別時間帯別)		
				0時~8時	~16時	~24時
商品販売実績情報	1週間前 (89/8/21)		14	晴れ	晴れ	晴れ
	2週間前 (89/8/14)		12	晴れ	曇り	曇り
	3週間前 (89/8/7)		9	雨	雨	曇り
	4週間前 (89/7/31)		11	曇り	曇り	晴れ
				天候特性係数		
				係数		
				1		
				0.85		
				0.95		

(A)

発注対象商品: テマキオニギリシャケ		発注日: 89/8/28					
		1週間前	2週間前	3週間前	4週間前		
販売実績		14	12	9	11		
天候特性係数		1	1	0.85	0.95		
販売実績補正数 (販売実績 × 天候特性係数)		14	12	10.6	11.6		
平均販売実績補正数		$\frac{14 + 12 + 10.6 + 11.6}{4} = 12.1$					

(B)

第2図

発注対象商品: テマキオニギリシャケ		発注日: 89/8/28		天候特性情報		
		発注日天候予測情報(時間帯別)			天候特性係数	
		0時~8時	~16時	~24時		
		雨	曇り	曇り	0.9	

(A)

発注対象商品: テマキオニギリシャケ		発注日: 89/8/28			
商品販売実績補正情報		12.1			
発注日天候特性係数		0.9			
商品発注数情報1 (商品販売実績 × 発注日天候特性係数)		10.9			
曜日特性係数(月曜日)		0.95			
商品発注数情報2 (商品発注数情報1 × 曜日特性係数)		10.4			
商品現在庫情報		2			
商品発注数情報(決定分) (商品発注数 - 商品現在庫情報)		8			
				(四捨五入済)	

(B)

第3図